

防衛費増税についての上申書

高市早苗経済安保担当大臣

動物の繁殖は虐待（繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ）
7月7日から『動物の繁殖は虐待』で検索を
福島市矢剣町1-1-3 星野節子
024-563-7650

日々のご政務に感謝の言葉もございません。さて、本日の用件ですが、

1、防衛費増のための増税には反対ではありません。国民の義務として捉えているからです。

「全ての権利は義務を有する」が日本国憲法の基本精神ですし当然の義務でしょう。とはいえ、米国から、使い物にならないガラクタ武器を買わされるのではないかと危惧しております。

2、国民は、防衛して欲しいうえに、福祉の充実も望んでいるため、国民は増税を大歓迎すべきです。しかしながら、国民の大半は道理が判らないため、あれもこれもと要求するばかりで負担はしたがりません。こんな愚民のために、日々精進されるお姿を拝見すると胸が苦しくなります。

3、増税時期については先送りということで大変ありがたく存じます。国民年金受給者と生活保護受給者とのバランスを取るためにも、健康な生活保護受給者の保護費の削減をして防衛費に回すべきだと考えております。健康な生活保護受給者の中には、加害者のくせに被害者になりすます術に長けているクズが大勢います。韓国による従軍慰安婦捏造と同じ手口です。

4、消費税が上がらないことは福祉費増大に歯止めをかけるという意味で、大変ありがたく存じます。福祉国家から自己責任国家にシフトしないと、そうでなくても「考えない、妬むだけ、他人と比べるだけ、食べるだけ、テレビ見るだけ、レジャーだけ、教えられる立場のくせに教えたがる自惚れだけ、

冤罪警察のくせに定年退職後に何食わぬ顔して5年も役所に勤務し、そのことを問題視して活動していた私のことを“支離滅裂だ”と名誉毀損した市職員等、愚民だらけの国から抜け出せません。日本再生のために、『行き過ぎた福祉は福祉を支える側への虐待』『動物と子供の人権を最優先に』をスローガンに頑張ります。

5、何の義理があっても政府が愚民のいのちに責任を持たなくてはいけないのか、、、。国民の道義心が高ければ、『国民は納税義務を果たし、政治家は国民の生活を保障する』という役割分担で良いのですが、政治家の粗探しと誹謗中傷しかできない愚民だらけの日本において、政治家が愚民のために頑張るのは割りが合わないため、気の毒になります。

防衛費増税についての上申書 追記事項

高市早苗経済安保担当大臣

動物の繁殖は虐待（繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ）
『アメブロ 動物の繁殖は虐待』で検索を
福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650

日々のご政務に感謝の言葉もございません。

先の2022年12月16日付「防衛費増税についての上申書」への追記事項でございます。

6、福島市内で周りを見渡すと、高市大臣より若い女性もっさりと老け込み、あご周りに贅肉が付き、野暮ったい服を着て、人格レベルは低すぎるくらい低く、暇潰しに毎日、テレビ・Netflixを観ています。高市大臣は、「昼食を食べると歯磨きをする時間を割かれる 時間がないため昼食は食べない」とのことです。それに比べ愚民は、食べ過ぎてブクブク太った挙げ句、ウォーキングするという暇人ばかりです。あんな無能な暇人らが冷暖房完備の家で暮らし、毎日、暇を持て余してテレビ・Netflixを観ていられるのは**日本の政治が良すぎるくらい良い**からです。

それとは対照的に、日本から脱出する富裕層は政治に不満を持っているはずですが、富裕層は税額に不満なのか、それとも、高額納税しているにも拘わらず感謝されず、周りから妬まれることに不満なのか？ 富裕層を対象に、日本から海外移住したい理由について、ヒアリングまたは税務署がアンケート調査をしたらいかがでしょうか。これについては「税制調査会」へ提言させていただきます。

7、増税については、なるべく公平に徴収するという観点からすると、あっちもこっちも増税となるのは当然でしょう。ひとつに偏るより遙かに良いと思います。

8、政治家は人気商売でもあるため、積極的に増税したいはずがありません。アベノミクス、コロナ支援等もあり、増税しか方法がないところまで来たのだと理解しております。増税とともに削減すべきところ（福祉費）は徐々に削減して頂きたいと存じます。

特に問題なのは『生活保護受給者の保険料ゼロ医療費ゼロ問題』です。